



# 定温輸送容器 Thermostable Cell Transporter

## 蓄熱材タイプ 20°C TypeK プラ段ボックス(引出し付)

Cat. No. PCT-K20

2025年10月29日作成

[www.cosmobio.co.jp](http://www.cosmobio.co.jp)

ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みいただき、安全に正しくお使いください。

### 【I】 製品仕様

- ・輸送用発泡スチロール箱 TypeK (有効内寸 : 190 x 250 x 75 mm)
- ・蓄熱材 20°C用 F-20 (1 kg x 1 個、480 g x 3 個)
- ・外装ボックス (外寸 : 340 x 440 x 330 mm)

### 【II】 蓄熱材の予熱・予冷

本製品に使用しております蓄熱材 F-20 は、事前に予熱または予冷が必要です。次の条件で必ず2日間以上、予熱、予冷を行ってください。

- ・輸送時の平均外気が 20°C以下の場合 : 23 ~ 30°Cで予熱(透明ゼリー状で使用)
- ・輸送時の平均外気が 20°C以上の場合 : 10 ~ 17°C(水道水など)で予冷(白色固化した状態で使用)

※密着して積み重ねると内部の予熱・予冷が不十分になります。蓄熱材間に隙間をつくるなどして、内部まで熱が十分伝わるようにしてください。

### 【III】 梱包方法

- (1) 蓄熱材 F-20 (1 kg x 1 個、480 g x 3 個) を予熱または予冷します。
- (2) 輸送用発泡スチロール箱の固定板を外し、1 kg の蓄熱材を 1 個セットします(図1)。
- (3) 固定板をセットし、両壁にそって 480 g の蓄熱材を各 1 個セットします(図2)。
- (4) 細胞培養プレート、培養バックなどを入れます。プレートなど平面培養状態のサンプルを輸送する場合は、蓄熱材との間に紙ウェスなどの衝撃吸収材を敷いてください(図3)。

図1



図2

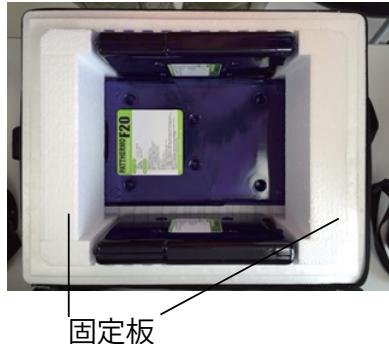


図3





(5) サンプル上部に 480 g の蓄熱材を 1 個セットします(図 4)。この時、隙間がある場合は、紙ウェスやエアクッション、ガーゼなどの緩衝材で隙間を埋めてください(図 5)。ただし、過剰な緩衝材はふたの密閉を妨げるため、ご注意ください。

(6) 外装バックのふたをマジックテープとベルトでしっかりと固定します(図 6)。

(7) 密閉後の輸送容器は常温にて輸送可能です。

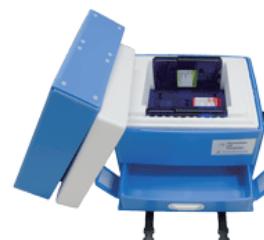
図4



図5



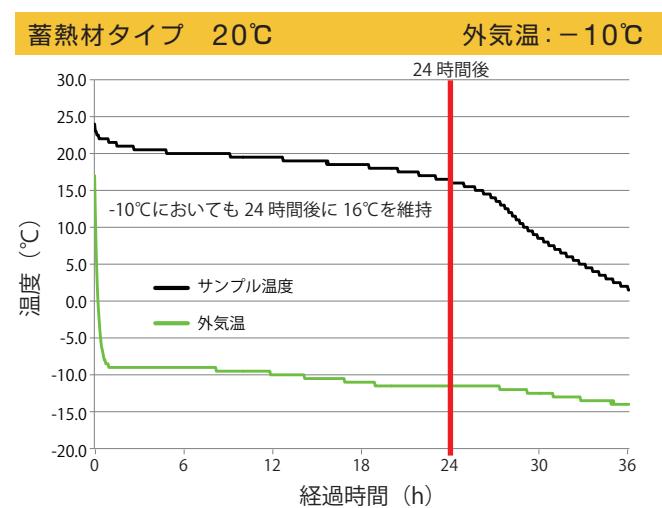
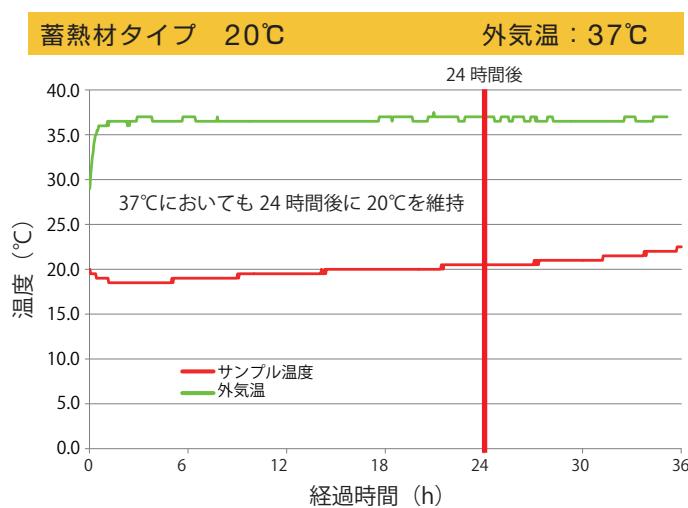
図6



## 【IV】その他

- 輸送用発泡スチロール箱および蓋は消耗品です。使用に伴い、蓋の密閉度が劣化した場合は、新しい箱に交換が必要です。交換用品の購入に関しては弊社営業部にお問い合わせください。
- 猛暑時期、極寒時期、または、設定温度と著しく異なる環境（車内など）に放置した場合は、温度精度が落ちます。外気温や輸送中の置き場所などにはご注意ください。
- バッテリータイプの定温輸送容器 Thermostable Cell Transporter バッテリータイプ 5°C /20°C /32°C もございます。

## 【V】蓄熱材タイプ 20°C 温度データ例



12401

